

私は、7年前に脱サラを得しにくくなるというとして4年前に会社を設立することを知らなかった。会社を辞めることができた。今さらなめると、個人に対するクレームから、セネコンにて技術シット(信用)はなくなる力は身についたが、社会常識と違ってよい。

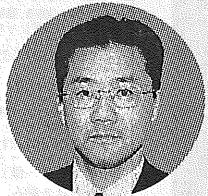
また、サラリーマン時代とつづいて感じた。また振に借りた住宅ローンを、低利のローンに借り換えより返るほどの年数が経って金利のローンに借り換えよらないが、今思うと失敗のうとしたが、銀行から拒絶連続であった。これから自された。個人のクレジット立しようとする技術者のたを高めおく必要性を実感めに、恥をしたので失敗を列挙する。

社員さんの社会保険をサラリーマンでなくなるけ忘れていた。忘れていたと、クレジットカードを取というよりも知らなかった

経営者への提言⑧

「社長失格」

ハタコトサル代表 降籟 達生



た。社員さんには迷惑をかけた。ちなみに税金は忘れずに支払っている。会社を設立し、社員さんを雇用すると、さまざまなお金を支払ってくれないお客様がいることを知らなかった。また、お金を支払うのは、催促された順というお客様がいることも知らなかった。請求書を出せば、自動的にお金を振り込んでいただけるものと思っていた。

とを知った。会社を設立し、社員さんを雇用すると、さまざまなお金を支払ってくれないお客様がいることを知らなかった。その後、教えていただき、大いに助かった。現在は、会社を設立するには追い風が吹いている。これまでにたくさんの方々に助けていただいた。特に建設業界に、こんなに暖かい方々がたくさんいらっしゃることを知りなかつた。競争でなく共創の理念で接していただいた。これからますますこの業界で生きていきたい。

苦勞して利益を出して、その半分近くを税金として支払わなくてはならなかった。ただしその反面、会社や経営者が社会的信用を得るためには、税金を支払わないといけないというこ